

日本保健物理学会 新 Newsletter 2019 年 1 月 16 日号

送信者:一般社団法人日本保健物理学会<exec.off@jhps.or.jp> 2019/01/17 09:05:33

-----  
日本保健物理学会 新 Newsletter 2019 年 1 月 16 日号  
-----

1. 学会関連情報

○日本保健物理学会役員候補（代表理事、理事、監事）選挙 1 月 15 日付けで公示

候補届の締切：2019 年 2 月 15 日（金）（消印有効）

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=140>

○学会賞選考委員会 平成 30 年度日本保健物理学会賞受賞候補者推薦を募集

推薦書の締切：2019 年 2 月 22 日（金）（必着）

功労賞，論文賞，貢献賞，奨励賞及び学生研究優秀賞の表彰を行います。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=138>

○放射線防護アンブレラ事業（本学会参加）HP が開設されました。

<http://www.umbrella-rp.jp/index.php>

○企画シンポジウム「医療における放射線防護を考える -医療被ばくと職業被ばく-」

1 月 12 日（土）に開催し、盛況のうちに終了しました。詳細はあらためて企画委より報告いたします。

○IRPA15 official e-Newsletter (Winter 2018)が届きました。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=139>

2. 関連する研究情報

○原子力規制委員会「平成 31 年度放射線対策委託費（放射線安全規制研究戦略的推進事業費）」公募開始

申込み締切：2019 年 2 月 12 日（火）正午まで

[https://www.nsr.go.jp/nra/chotatsu/buppin-itaku/itaku/20190110\\_01.html](https://www.nsr.go.jp/nra/chotatsu/buppin-itaku/itaku/20190110_01.html)

（公募説明会：1 月 21 日 14 時～、原子力規制庁（六本木ファーストビル）13 階入札会議室）

重点テーマ 1. 放射性物質による多数の汚染・傷病者の初期対応に係る技術的課題の検討

2. RI・放射線利用の実態を踏まえた安全管理の合理化・体系化

3. 放射線規制関係法令の運用に係る共通課題の調査研究

（論文情報）

○J Am Heart Assoc. 2018 Dec 4;7(23):e008921. doi: 10.1161/JAHA.118.008921.

末梢動脈疾患 (PAD) は、下肢に生じる閉塞性の動脈疾患である。原爆被ばく者 (3476 名) で、足関節・上腕血圧比

(ABI) が 1 以下か血管再建術歴を PAD の基準として調べたところ、PAD の有病率と放射線被ばくに関連性は認められ

なかった。早期 PAD の指標である縮期昇脚時間(UT、脈波の拡張期から収縮期への移行時間)は、線量の増加とともに増加する傾向にあったが、有意ではなかった。

Association Between Prevalence of Peripheral Artery Disease and Radiation Exposure in the Atomic Bomb Survivors

Takahashi I et al

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/30486720>

○Radiation Measurements Available online 7 December 2018

FNTD (蛍光核飛跡検出器) は、PNTD (プラスチック飛跡検出器) に比べて簡単に取り扱い、照射後にすぐ読み取れる、再利用できるという利点を有するが、荷電粒子と X/γ 線の照射が重なった場合、荷電粒子の飛跡読み取り効率が低下するという欠点がある。γ 線によって引き起こされる飛跡の誤認識は BG 領域での蛍光強度の変動が大きくなり、トラック領域と BG 領域を区別することが難しくなることが原因の可能性を示した。この現象によりガンマ線混在場での飛跡検出が難しいことが示唆された。

Evaluation of gamma-ray disturbing effect on readout of charged particle tracks using fluorescent nuclear track detector (FNTD)

Hashizume T et al

<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S1350448718301136>

○Journal of Environmental Radioactivity Available online 10 January 2019

福島第一原発事故後 5 年間の 80km 圏内における広域の空間線量率と放射性核種沈着量の経時変化についてのサマリー。住環境の空間線量率は物理的減衰からの予想より 2-3 倍低く減少、この減少の原因は物理的減衰、垂直、水平方向への放射性 Cs の移動及び除染。放射性 Cs の移動は土地利用と人間活動により有意に変化。

Summary of temporal changes in air dose rates and radionuclide deposition densities in the 80 km zone over five years after the Fukushima Nuclear Power Plant accident

Saito K et al

<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0265931X18307884>

○Int J Radiat Biol. 2019 Jan (電子版先行掲載). doi:10.1080/09553002.2018.1558303.

欧米、カナダ、韓国、日本で主に放射線防護の視点から実施されている放射線影響研究の研究費や関連する教育・研修の歴史的変遷、現状、今後の展望をまとめた総説。

Funding for radiation research: past, present and future

Cho K et al

<https://doi.org/10.1080/09553002.2018.1558303>

3. ニュースや社会の動き

○国際放射線防護委員会(ICRP)第1専門委員会2018年年会(9/19-9/21に米国シカゴで開催)の要約を公開

<http://www.icrp.org/admin/Summary%20of%20Meeting%202018%20Chicago.pdf>

○米国放射線防護審議会 (NCRP) 科学委員会 SC3-1P2 報告書草案

「Implementation Guidance for Emergency Response Dosimetry」公開意見募集 (回答締切 1/25)

(報告書草案) [https://ncrponline.org/wp-content/themes/ncrp/Docs\\_in\\_Review/NCRPM1901.pdf](https://ncrponline.org/wp-content/themes/ncrp/Docs_in_Review/NCRPM1901.pdf)

(コメント書式) [https://ncrponline.org/wp-content/themes/ncrp/Docs\\_in\\_Review/CommentForm.pdf](https://ncrponline.org/wp-content/themes/ncrp/Docs_in_Review/CommentForm.pdf)

○米国放射線防護審議会 (NCRP) 2019 年 (創立 90 周年記念) 公開年会

(2019 年 4 月 1-2 日に米国メリーランド州ベセスダで開催) のプログラムを公開

[https://ncrponline.org/wp-content/themes/ncrp/PDFs/2019/Summary\\_1-8-19.pdf](https://ncrponline.org/wp-content/themes/ncrp/PDFs/2019/Summary_1-8-19.pdf)

○原安協 原子力事故後の甲状腺健康モニタリングの長期戦略: IARC 専門家グループによる提言 (邦訳版) 公開

[http://www.nsra.or.jp/safe/tmnuc/Summary\\_Report1\\_J.pdf](http://www.nsra.or.jp/safe/tmnuc/Summary_Report1_J.pdf)

4. これからのイベント

○早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター「第 3 回ふくしま学 (楽) 会」

(1 月 27 日 10:30-17:30、みんなの交流館ならば CANvas 福島県楡葉町)

<http://www.waseda.jp/prj-matsuoka311/material/3rdFukuleaf.pdf>

○日本原子力学会・保物学会共催「第 9 回 技術士制度・試験講習会」

(2 月 16 日 13:30-17:00 頃、一般社団法人 原子力安全推進協会 第 1、2、3 会議室)

<http://www.aesj.net/document/9koshu.pdf>

○日本アイソトープ協会 第 56 回アイソトープ・放射線研究発表会 一般発表申込の受付を開始

(締切: 2 月 28 日 17:00 まで)

[https://www.jrias.or.jp/isotope\\_conference/abstract/index.html](https://www.jrias.or.jp/isotope_conference/abstract/index.html)

○原子力安全技術センター (東京都文京区白山 5-1-3-101)

・「法令改正と放射線安全管理に係る講習会」(1 月 24 日 10:00-16:20、東京富山会館ビル内会議室)

<https://www.nustec.or.jp/project/kaisei.html>

・「平成 30 年度核燃料物質の安全管理講習会」(2 月 18 日 13:05-16:30、東京富山会館ビル内会議室)

<https://www.nustec.or.jp/project/kakunen.html>

5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○原研 役員 (副理事長) 1 名 (任期 2 年: 平成 31 年 4 月 1 日-平成 33 年 3 月 31 日) (締切: 1 月 21 日必着)

<https://www.jaea.go.jp/saiyou/officer/2019010801/01.pdf>

○高エネルギー加速器研究機構 加速器研究施設 教授 1 名 (締切: 2 月 20 日必着)

<https://www.kek.jp/ja/Jobs/2019/01/07/0035/>

既発行の新 Newsletter はこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/newsletter/page.cgi>

新 Newsletter にて発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

— . . . . . —  
【発 行】 一般社団法人日本保健物理学会

【編 集】 同企画委員会

【発信元】 同学会事務局

TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659

E-mail: [exec.off@jhps.or.jp](mailto:exec.off@jhps.or.jp)

— . . . . . —